

2021年6月15日

会員各位

公益社団法人全国有料老人ホーム協会

「第21回東日本事例研究オンライン発表会」開催案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は全国有料老人ホーム協会の運営について格別なご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、例年実施している「東日本事例研究発表大会」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、従来の対面式でなく、オンライン方式で開催いたします。各ホームの取り組み事例をWEB上に動画で公開することで、その成果をホーム内だけでなく、広く社会に共有するとともに、審査方式を導入することで、参加職員のモチベーション向上・サービスレベルの向上へつなげる機会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちいたしております。

敬具

記

1. 開催概要について

- ①. 会 場 : 全国有料老人ホーム協会のホームページ上で一般向けに期間限定配信
- ②. 参加資格 : (発表者) 全国有料老人ホーム協会会員法人ホーム
(視聴者) 制限なし・一般消費者も含む
- ③. 参加費 : 発表・視聴ともに無料
- ④. 申込方法 : エントリーシート(別紙)※を作成し、事務局まで送信
※エントリーシートは下記協会ホームページよりダウンロードください。
「第21回東日本事例研究オンライン発表会」開催・発表事例募集のご案内
発表申込み・質問受付アドレス : jireiken@yurokyo.or.jp
- ⑤. スケジュール

発表申し込み締め切り	9月30日(木)
発表資料・動画作成締め切り	10月15日(金)
動画配信	10月26日(火)～
アンケート等受付期間	10月26日(火)～11月9日(火)
ホームページ上で、審査結果発表	11月11日(木)

(11月11日介護の日に向けて、プレスリリース実施)

(1) 目的

- ①事例の発表を通して、ホーム職員の以下の項目のスキルアップを狙う。
 - ・情報収集力
先行事例を調べる等、情報収集することにより、外部環境への視野を広げ、ケア方法の幅を広げる。
 - ・データ分析力
客観的事実を収集し、データの集計・分析を行うことにより、根拠を基にケアのPDCAサイクルを回せるようになる。
 - ・説明力
プレゼンテーション方法や資料作成方法を検討することにより、第三者に対する説明力、日常実施しているケアを可視化する力を高める。
- ②他ホームのケアの取組を知ることで、業務上の参考とする。
- ③有老協会会員ホームの職員が日常のサービス提供で培ったノウハウを事業者・消費者等に共有することにより、入居者の安心・安全を高め、会員の価値を社会に訴求し、また入居募集の一助とする。

(2) 発表テーマについて

特に制限なし

(3) 発表方法について

動画時間：1 事例 10 分以内

パワーポイントスライドに、ナレーションを付けて制限時間内の動画ファイルとして保存。

(参考) データ作成方法 <https://dekiru.net/article/16455/>

- ・発表動画は、YOUTUBE にアップし、期間限定でエントリーシート・発表原稿とともに協会ホームページ上に一般公開します。
- ・希望者には、事前予約制で、有老協会議室をお貸ししますので、動画撮影(作成)などにご活用ください。希望者は、お気軽に事務局までお申し付けください。

2. 職員のモチベーション UP に向けて

(1) 以下の項目について審査を行う。

発表審査：審査員複数名による審査により、最優秀 1 事例 優秀 2 事例を選出し、プレスリリースする。

○審査基準(案)

タイトル	1. 関心を招くタイトルであるか 2. タイトルが内容と合致し、事例の一連のストーリーを的確に表現するものか
発表内容	3. 構成が整っていたか(導入から結論、今後の意気込み、文献記載まで) 4. 検証・取り組みの方法が適切であるか 5. 他事例・文献などの情報収集を行い参考にしているか 6. チームでの取り組みが見られるか 7. 結果が客観的事実・データに基づいたものとなっているか 8. 結果に基づく考察が飛躍していないか結果説明のみで完了していないか
倫理的配慮	9. スライド、エントリーシートのなかに「倫理的配慮」についての記載・説明があったか 10. 引用文献、参考文献を正しく取り扱っていたか
エントリーシート	11. 内容が簡潔にまとめられており、わかりやすかったか
プレゼンテーション	12. 話し方、スピード、声量が聞きやすく、かつ説得力があったか
スライド資料	13. 配色・バランス・文字フォント・図表等が見やすく構成されていたか(過剰かつ不適切なアニメーションは減点対象) 14. 内容を正確に表現できていたか
内容の有用性	15. 今後の課題が明確で発展性が感じられるか 16. 他事業所・他業界へも影響を与える可能性がある内容か
独自性	17. 既定の枠にとらわれることなく自由な発想で、問題解決に取り組んでいたか

(2) アンケートでのフィードバック

発表いただいたホームには、他社の 3 事例に対し、良かった点・改善すべき点・励ましのエールなどをアンケートとして提出していただき、発表ホームへフィードバックします。なお、感想を述べていただく 3 事例については、協会にて事前に割り振りさせていただきます。

(本件に関する問い合わせ先)

全国有料老人ホーム協会 担当：事業推進部 稲田・福澤 (jireiken@yurokyo.or.jp)

電話：03-3272-3781 FAX:03-3548-1078